



令和3年度北海道開発事業費

(小樽開発建設部実施分)の概要について

令和3年度北海道開発事業費（小樽開発建設部実施分）について、別紙のとおりお知らせします。
参考として、北海道開発局（本局）の公表に倣い、令和2年度第3次補正予算を含む予算総括表もあわせて添付しています。



【問合せ先】	国土交通省	北海道開発局	小樽開発建設部	
	全体	広報官	ふるき たかふみ 古木 崇史	(0134-23-9910)
	河川関係	工務課長	ふじおか ひろゆき 藤岡 博之	(0134-33-0525)
	道路関係	道路計画課長	ささき ひろかず 佐々木 博一	(0134-23-5229)
	港湾・水産関係	築港課長	いわた まこと 岩田 真	(0134-23-5205)
	農業関係	農業開発課長	にしやま ひろあき 西山 弘昭	(0134-23-9634)



令和3年度

北海道開発事業費の概要
(小樽開発建設部実施分)

令和3年3月

小樽開発建設部

目 次

I 令和3年度 小樽開発建設部事業費総括表	1
II 小樽開発建設部関係事業概要(事業別)	
治水事業	3
道路事業	4
港湾整備事業	8
農業農村整備事業	9
水産基盤整備事業	10

令和3年度 小樽開発建設部事業費総括表

(事業費)

(単位：百万円)

事 項	予 算 額	備 考
治 水	763	
道 路	22,152	
港 湾 整 備	2,252	
農 業 農 村 整 備	2,588	
水 産 基 盤 整 備	1,239	
合 計	28,993	

注) 1. 治水には都市水環境整備を含む

2. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない

3. 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある

小樽開発建設部事業費総括表（令和2年度第3次補正予算・令和3年度当初予算）

（事業費）

（単位：百万円）

事 項	合 計	令 和 2 年 度 第 3 次 補 正 予 算 額	令 和 3 年 度 当 初 予 算 額	備 考
		（令和3年1月29日公表）		
治 水	1,165	402	763	
道 路	30,518	8,366	22,152	
港 湾 整 備	3,182	930	2,252	
農 業 農 村 整 備	3,388	800	2,588	
水 産 基 盤 整 備	1,589	350	1,239	
合 計	39,842	10,848	28,993	

- 注) 1. 治水には都市水環境整備を含む
 2. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない
 3. 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある

治水事業

治水事業は、一級河川尻別川（直轄管理延長 24.2km）において、強靱な国土づくりに貢献し、安全・安心な社会基盤を形成するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（令和2年12月11日閣議決定）に基づくハード・ソフト対策を推進するとともに、農林水産業や観光等を担う地域である「生産空間」の保持・形成を図ります。

また、気候変動の影響による災害の激甚化・頻発化に対応するため、「流域治水」の考え方に基づき、河道掘削等の対策をより一層加速するとともに、流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進します。

令和3年度は、甚大な人命被害等が生じるおそれがある区間における河道掘削、樹木伐採等の水位低下対策を実施するとともに、河川維持修繕では、河道や河川管理施設の機能を確保するため、堤防管理、水閘門等維持管理、河川巡視等を継続して実施します。



河道掘削状況



河道掘削後

治水事業の概要

事業別	地区別等	事業の概要
河川改修	尻別川	河道掘削等
河川維持修繕	尻別川	堤防管理、水閘門等維持管理、河川巡視等

国土交通省
川の防災情報 "気象"×"水害・土砂災害"
情報マルチモニタ

川へ行こう！ 川を楽しもう！

かわたび

ほっかいどう

KAWATABI HOKKAIDO

北海道総合開発計画のもと、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進しています。

道路事業

1. 食料供給基地としての持続的発展及び世界水準の観光地の形成を目指す地域社会の形成

○ 広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成

北海道内外の人流や物流の拡大、地域・拠点間連携を確保するため、高規格幹線道路等のネットワークの構築を推進します。

- ・ 国道 5 号 倶知安余市道路（倶知安～共和） 延長 11.5km
- ・ 国道 5 号 倶知安余市道路（共和～余市） 延長 27.6km



国道 5 号 倶知安余市道路（共和～余市）
（仮称）銀山大橋

○ 「シーニックバイウエイ北海道」の推進

ドライブ観光を推進する「シーニックバイウエイ北海道」において、地域の活動団体がお薦めする魅力ある景観を有する道路を選定し、景観の維持・形成や誘客に向けた広報等を重点的に実施する、シーニックバイウエイ「秀逸な道」を本格的に展開します。

小樽開発建設部は、管内の「支笏洞爺ニセコルート」の活動と連携した取組を推進します。



国道 276 号 3 町合同草刈り
（国道 276 号喜茂別町相川ビューポイントパーキング状況）

○ 北海道におけるサイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向けた「北海道サイクルツーリズム推進方針」を踏まえ、地域や道路管理者等が連携し、安全で快適な自転車走行環境の創出、サイクリストの受入環境の改善及び情報発信等の取組を実施します。



自転車走行環境改善に向けた取組
（国道 5 号における路面表示）

2. 強靱で持続可能な国土の形成

○ 道路の防災・減災対策

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格幹線道路等の整備、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。

また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（令和2年12月11日閣議決定）を重点的かつ集中的に推進します。

- ・国道5号 倶知安余市道路（倶知安～共和） 延長 11.5km
- ・国道5号 倶知安余市道路（共和～余市） 延長 27.6km
- ・国道5号 塩谷防災 延長 1.5km
- ・国道229号 島牧防災 延長 6.1km
- ・防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策



国道5号 塩谷防災
(令和3年3月20日開通)

○ 冬期災害に備えた対策と災害発生時における地域支援

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格幹線道路等の整備、一般国道の現道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。

また、災害発生時における被災地の支援のため、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊：リエゾン※を含む）等により、被害拡大の防止、被災自治体管理施設の被災状況の調査、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

(※リエゾン：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員)

○ 道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

○ 交通安全対策の推進

事故データ、地域の声やビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプランを推進します。

また、未就学児を含む子供の移動経路における交通安全の確保に向けた取組について関係機関と連携し推進します。

(※事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組)

- ・国道5号 朝里交差点改良、春香歩道整備【R3 新規事業化】
- ・国道229号 余市地区交差点改良
- ・国道230号 喜茂別事故対策、三の原中央帯整備【R3 新規事業化】
- ・国道337号 銭函運河交差点改良【R3 新規事業化】
- ・国道393号 小樽真栄交差点改良

○ 無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、無電柱化推進計画に基づき、各道路管理者・関係事業者との連携の下、無電柱化を推進します。

- ・ 国道 5 号 ニセコ電線共同溝、倶知安地区電線共同溝、小樽花園電線共同溝
- ・ 国道 229 号 余市駅前電線共同溝

○ i-Construction の推進

社会資本の着実な整備や道路除雪などの確な維持管理を行っていくため、建設現場や除雪現場での効率化・省力化に向け、ICT の全面的な活用など iConstruction を推進し、生産性向上とともに建設産業の担い手確保を図ります。

小樽開発建設部は、国土交通省において i-Construction の取組を先導する「i-Construction モデル事務所」として位置づけられており、倶知安余市道路にて 3 次元データの活用や ICT 等の新技術の導入を推進します。

また、小樽道路事務所と施工現場を 5G 規格の通信で結び、遠隔臨場立会の実施など先進的に生産性向上を図ります。



国道 5 号 倶知安余市道路（共和～余市）
（ホイールローダの遠隔操作）

道路事業の概要

路線名	主要事業	
国道 5 号	高規格幹線道路の整備	倶知安余市道路（倶知安～共和） 倶知安余市道路（共和～余市）
	防災対策	塩谷防災
	無電柱化の整備	ニセコ電線共同溝、倶知安地区電線共同溝 小樽花園電線共同溝
	交通安全対策	朝里交差点改良（小樽市） 春香歩道整備（小樽市）
	老朽化対策	道路構造物修繕（橋梁、トンネル、横断歩道橋）
国道 229 号	防災対策	島牧防災
	無電柱化の整備	余市駅前電線共同溝
	交通安全対策	余市地区交差点改良（余市町）
	老朽化対策	道路構造物修繕（橋梁、トンネル、シェッド、流雪溝）
国道 230 号	交通安全対策	喜茂別事故対策（喜茂別町） 三の原中央帯整備（留寿都村）
	老朽化対策	道路構造物修繕（橋梁）
国道 276 号	老朽化対策	道路構造物修繕（橋梁）
国道 337 号	交通安全対策	銭函運河交差点改良（小樽市）
	老朽化対策	道路構造物修繕（橋梁）
国道 393 号	交通安全対策	小樽真栄交差点改良（小樽市）
	老朽化対策	道路構造物修繕（橋梁）

令和3年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

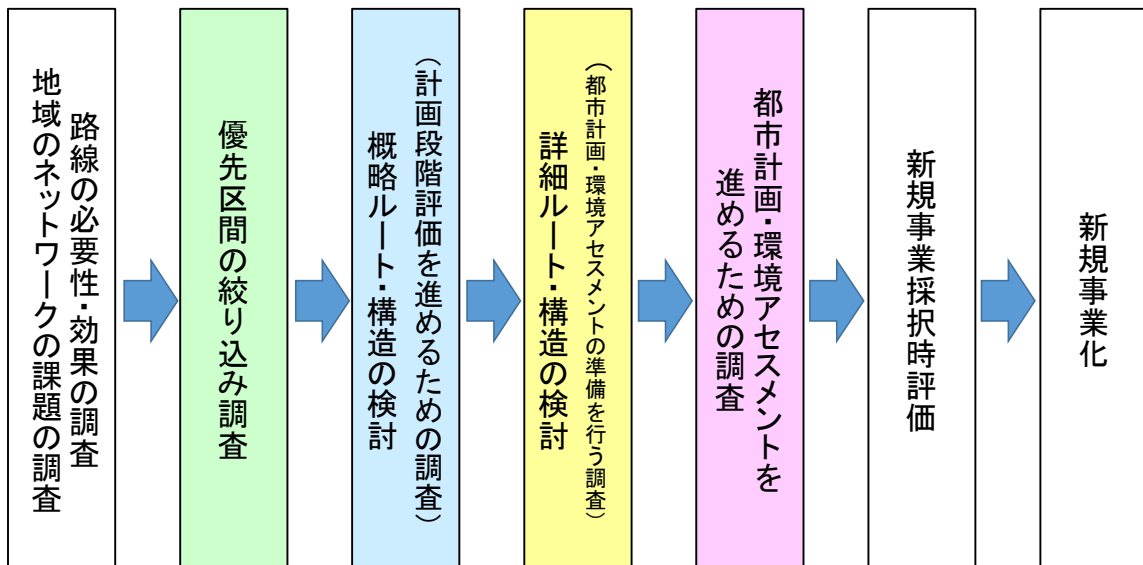
概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

北海道横断自動車道 らん こし 蘭越～くつちゃん 倶知安

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞、交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

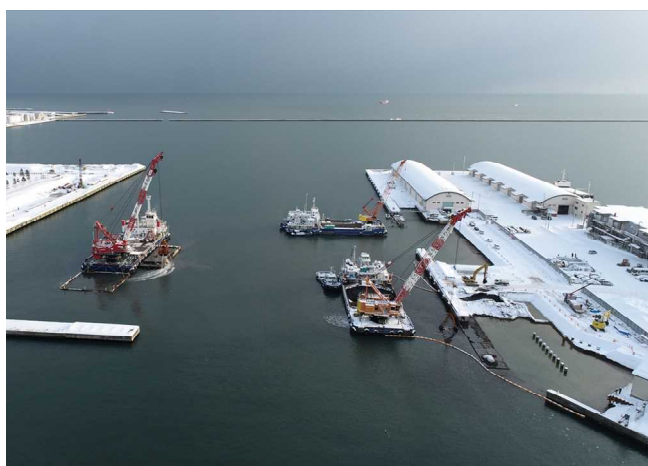
<道路調査の流れ>



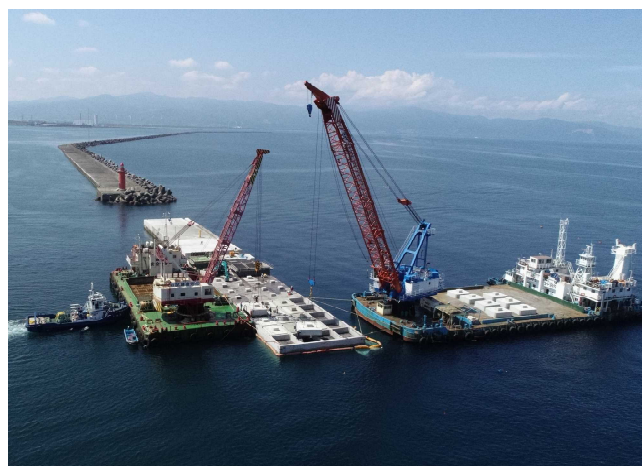
港湾整備事業

港湾整備事業では、産業を支える物流ネットワークの機能強化や安定性確保、世界水準の観光地の形成を図るため、重要港湾の小樽港及び石狩湾新港、地方港湾の岩内港の整備を行います。

小樽港では、クルーズ船の受入環境改善及び老朽化対策としての岸壁の改良や港内静穏度の向上を図るための防波堤の改良、また、石狩湾新港では、水深不足による非効率な輸送を解消するための新たな岸壁の整備や港内静穏度の向上、航行船舶の安全性の向上を図るための防波堤の整備、さらに、岩内港では、防波堤の老朽化対策を進めます。



小樽港第3号ふ頭（水深10m岸壁改良）
整備状況



石狩湾新港北防波堤
整備状況

港湾整備事業の概要

事業区分	港湾名	地区名	事業の概要
港湾改修事業	<重要港湾> 小樽港	本港地区 中央地区	北防波堤改良 水深10m岸壁改良 水深10m泊地
	石狩湾新港	本港地区 東地区	北防波堤 水深12m岸壁
	<地方港湾> 岩内港	本港地区	船入澗防波堤改良

農業農村整備事業

農業農村整備事業では、地域の食料供給力や産地収益力を向上させ農林水産業の持続的発展を図るため、国営緊急農地再編整備事業「ニセコ地区」を実施し、農地の土地利用の再編、担い手への農地利用集積を行う区画整理を進めるとともに、双葉ダムをはじめとする用水施設の整備や用水再編を行う国営かんがい排水事業「中後志地区」を実施します。



農地の区画整理工事の実施状況

農業農村整備事業の概要

事業種別	地区名	関係町村名	受益面積	計画概要
国営緊急農地再編整備事業	ニセコ地区	ニセコ町	1,490ha	区画整理 1,490ha
国営かんがい排水事業	中後志地区	京極町 倶知安町 共和町	2,893ha	ダム改修 1か所 頭首工改修 1か所 用水路改修 5条

水産基盤整備事業

水産基盤整備事業では、沿岸漁業等の生産・流通拠点、また、周辺海域で操業する漁船の陸揚げ及び避難拠点として重要な役割を担う第3種漁港、第4種漁港の整備を実施しています。

古平地区では、災害発生後の緊急物資輸送及び水産業の早期再開に資する耐震強化岸壁等の整備、美国地区では、漁業就労環境の改善を図るための屋根付き船揚場等の整備、寿都地区では、ホタテ養殖漁業の衛生管理対策及び作業効率向上のための岸壁・護岸等の整備を実施します。また、漁港施設の長寿命化を図るため、古平漁港において船揚場及び岸壁の補修を実施します。



古平地区 水深 5.0m 岸壁(耐震)(改良)
整備状況



寿都地区 南ふ頭(護岸(南)等)
整備状況

水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港漁場整備事業	古平地区 (第3種古平漁港)	外郭施設：東防波堤(改良) 係留施設：水深 5.0m 岸壁(耐震)(改良) 輸送施設：道路(改良)
	美国地区 (第3種美国漁港)	係留施設：船揚場(改良) 漁港施設用地：用地(改良)
	寿都地区 (第3種寿都漁港)	外郭施設：護岸(南) 水域施設：水深 3.5m 泊地、水深 3.0m 泊地 係留施設：水深 3.5m 岸壁(南)、水深 3.0m 岸壁(南)
	北海道第3種及び第4種漁港地区	【古平漁港】 係留施設：船揚場(補修)、水深 4.0m 岸壁(補修)